

国際作曲コンクールベスト10 特別賞受賞記念
野瀬栄進ソロピアノコンサート
at 札幌コンサートホール Kitara小ホール

11月14日(火曜日)

18:30 開場 19:00 開演 4000円(全席指定席)

※未就学児入場不可

チケットお問い合わせ先：キタラチケットセンター 011-520-1234
野瀬栄進コンサート実行委員 090-1036-4193(蔵) acnose@gmail.com

主催：野瀬栄進コンサート実行委員会

特別協賛：なの花薬局

協賛：協坂工務店・アクティビティセンター アンドア・上川大雪酒造株式会社・カムオンHall・蘭越 國岡の米

特別協力：AIR-G' FM 北海道・小樽洋菓子舗 LeTAO 後援：札幌市・札幌市教育委員会



チケット
販売



Official
Site

野瀬 栄進 ÉISHIN NOSÉ 小樽市出身ニューヨーク在住31年

ジャッキー・バイヤード、リッチー・バイラーク、フィル・マルコウィッツ、バーリー・ハリス、ラス・ロッシング各氏に師事。ヘルマン・ディアス氏にクラシック・ピアノを師事。ジェイムス・コマック、マット・ウィルソン、エリオット・ジモント、トニー・モロ、ジェフ・ウィリアムス、グレゴア・マレット、デュアン・クック、デイブ・アンブrosio、デビッド・スミス、ティム・アマコスタ、トラビス・サリバン、ボブ・マイヤー、ブルックリンビッグバンド、井上陽介、小山太郎、武石聡、東原力哉、安川大樹、与世山澄子、奥野義典、小山彰太、他数多くのミュージシャンと共演。Blue Note NYを始めとする数々のクラブに出演、アメリカ、南米、日本などで演奏活動中。

- 1995 アメリカのジャズ誌『ダウンビード・アワード』受賞
- 2003 スイング・ジャーナル選定『ゴールドディスク』受賞
- 2009 S&R Washington Award受賞(ジャズミュージシャンとしては初)
- 2015 ISC(International songwriting competition)にて、『In The Forest』(ジャズ部門)、『Pico Pico』(インスト部門)の2曲が18500曲中ファイナルベスト10特別賞入賞
- 2017 ISCにてオリジナル『Moon Longing For Sun』(ジャズ部門)、『Koropokkur Suite』(インスト部門)の2曲が16000曲中ファイナルベスト10特別賞入賞
- 2018 ISCにてオリジナル曲『Moon Longing For Sun』が19000曲中インスト部門ファイナルベスト10特別賞入賞
- 2020 ISCにてオリジナル『イオマンテ』が26000曲中ジャズ部門ファイナルベスト10特別賞入賞
- 2021 ISCにてオリジナル『Exclude out』が15000曲中ジャズ部門ファイナルベスト10特別賞入賞
- 2022 ISCにてオリジナル『Ta ta tsu ta ta』が15000曲中ジャズ部門ファイナルベスト10特別賞入賞

野瀬 栄進 ÉISHIN NOSÉ DISCOGRAPHY



2023年 Solo piano『SENSE THE MOMENT』 acmusic016 ¥3,000

2020年 キタラコンサート本番前に行ったフリーインプロの音源+映像 QRコード付き
メロディーやコードを用意せずその瞬間に作り上げた演奏したスリリングな即興パフォーマンス。スタインウェイコンサートグランドで弾く、世界トップクラスの音の響きを誇る札幌コンサートホールキタラでの自然の音響/リバーブを生かした珠玉のレコーディング。その現場を垣間みる未公開演奏映像風景 QRコード付き。

all free improvisations and compositions by ÉISHIN NOSÉ
recorded at Sapporo Concert Hall Kitara on 10.31.2020
fully improvised music in real time, unedited
recorded/mixed by Kenji Morimoto
art work by Ichiro Yamaguchi
jacket work by Daisuke Takada
piano tuning by Kenji Azuma



2022年 Northern Lights, THE GATE tour 2018 acmusic015 ¥3,000

北海道をテーマにした、THE GATE Tour 2018 のライブアルバム『Northern Lights』。野瀬栄進が生まれ育ったこの土地からインスピレーションを得たクリエイティブな世界観が楽しめます。中でも、数々の映像作品や飛行機内で使用された『Quiet Blue Snow』、国際作曲コンクールで15000曲の中からベスト10特別賞に入ったIomante、コロポックル組曲は必聴です。幻想的で壮大なサウンドと、雄大な自然の景色が融合し、聴く人をトリップさせること間違いなし。是非、野瀬栄進が愛する北海道の情景と共に、音楽の旅に出かけてください。



2020年 Solo in TOKYO "Harmonics" acmusic014 ¥3,000

このアルバムは TOKYO FM にて全て即興演奏でその場で作った曲を収録した全22曲。ヨーロッパ旅行からニューヨークへ戻り数日後日本に帰国してすぐの録音。ヨーロッパでは様々な音楽を聴き、倍音(Harmonics)というのを意識した音楽の旅でもあった。その経緯もあり Harmonics というタイトルに。



2016年 HEAVEN'S DREAM acmusic012 ¥3,000

野瀬栄進初のソロバード特集。地元小樽のコンサートホールで録音。ニューヨークから13ヶ月かけて運び入れた1912年製のニューヨーク・スタインウェイ・ピアノを使用。北海道の雪景色をイメージした『Quiet Blue Snow』ピアノが届いた喜びで創られた『Tickling Ivory』故郷小樽をテーマにした『Nostalgia Otaru』、BSジャパンの番組オープニング曲に使用された『Rachmaninov Symphony No.2-Adagio』のアレンジを含む野瀬栄進オリジナル全16曲収録。#2,3,11,14,15以外はその場で即興演奏



2015年 kamuy hum urespa mosir ikor-kor acmusic009 ¥3,000

民族楽器奏者 奈良裕之と参加したアイヌ民族のイベントコンサートのライブ盤。ジャズでもない、クラシックでもない、民族音楽でもない、ジャンルを越えた二人の一時間以上に及ぶ即興演奏と野瀬のオリジナル『KUBA』がアンコールで収録。友人好み一枚。



2011年 Solo in Sapporo Concert Hall "KITARA" acmusic006 ¥3,000

札幌のコンサートホール『キタラ』でのソロアルバム。キタラの素晴らしい響きをそのまま収録したコンサートアルバム。
『The Lure』『Moon River』『KUBA』『Rabbit Dance』『Awamori Dance』など全11曲(スタンダードが2曲)収録の人気アルバム。



2010年 Waiting acmusic005 ¥3,000

アハマド・ジャマルのベースを30年近く動けたジェイムズ・コマックとスウィングなドラマー、デュアン・クックのトリオ。ポナストラックに野瀬の自宅に収録した音源がそのまま入っており、ニューヨークの雑音がバックから聴こえてくる。もともとニューヨークを感じられるアルバムで、野瀬のアルバムの中で一番皆さんにお買い求め頂いている一枚。



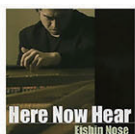
2007年 Inside out dream acmusic003 ¥2,800

ベースにデイブ・アンブrosio、ドラムに武石聡と元ビル・エバンストリオのエリオット・ジモント。2人の対象的なドラマーを曲によって変えている。
International Songwriting Competitionにてファイナルに選出された『In the forest』人気曲『泡盛ダンス』やテレビのテーマソングに使われた『Hope』など全11曲収録。



2003年 Burning Blue acmusic002 ¥2,800

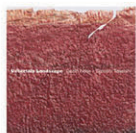
初のソロアルバム、スタジオレコーディング。野瀬のコアなファンに人気の一枚。このアルバム制作途中で大好きだった従兄弟が死去。幼少の頃、毎年小樽の海で従兄弟と一緒に遊んだことを思い出して『KUBA』を演奏。そして『My Cousin』という曲を書き下ろす。CS番組『私の美酒を探して』のオープニング曲『Hope』を収録したオリジナル曲全10曲収録。



2001年 HERE NOW HEAR acmusic001 ¥2,500

ベースに日本人ベーシスト人気ナンバーワン井上陽介、ドラムに鬼才マット・ウィルソン、そして今ではスタンディングやハービー・ハンコックと共演しているハーモニカのグレゴア・マレットがゲストで5曲参加。『Point of View』、『Here Now Hear』は野瀬のオリジナル傑作の一つ。人気曲KUBAも含め20代に書き溜めた作品を8曲収録。野瀬栄進の原点。Remember to Remember はアメリカとヨーロッパのフジテレビのニュースのオープニングとエンドロールに2年間流れていた。

THE GATE ÉISHIN NOSÉ (piano) + SATOSHI TAKEISHI (percussion) DISCOGRAPHY



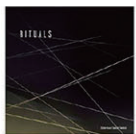
2017年 Uncertain Landscape あてのない風景 acmusic013 ¥3,000

International songwriting competitionでジャズカテゴリーでベスト10になったMoon Long Sun, インストゥルメントカテゴリーでベスト10になった『コロポックル組曲』、象牙のピアノをアメリカから輸入する際、ワシントン条約と戦って頭にきていたときに書いた『アフリカンエレファント』、北海道のチーズ工房アンジュドフロマージュで書いた『アンジュ』など13曲収録。※レコード盤も販売中



2015年 Pico Pico acmusic011 ¥3,000

初のスタジオレコーディングをアナログテープで録音。ニューヨークの街中の蒸気イメージした『EVAPORATION』、ゲーム音楽をイメージした『Pico Pico』(2016年 International Songwriting Competitionにて18500曲中10曲のファイナルに選出)、4拍子から5拍子に変化していく『STRAIGHT OFF THE PLANE』、2011年震災のときに創った祈りの曲『IBUKI』、2014年キューバに行った時に OLD HAVANA という町並みをイメージした曲『KUBA 2』など野瀬栄進オリジナル全9曲収録。



2014年 Rituals acmusic010 ¥2,500

THE GATEのライブ1曲目は、必ずその場で曲を創り即興演奏でスタート。北海道から沖縄まで、その土地や会場、お客さんの雰囲気やその場のエネルギーを感じてその場で曲を作った作品。15個所の街、会場で収録。



2013年 THE GATE JAPAN TOUR 2011-2012 acmusic008 ¥3,000

音が良かったホールや教会で野瀬がパイプオルガン、武石がピアノを演奏したものの、会場の皆さんがノリノリで叫び声が聴こえるライブ会場など全国各地面白い演奏や会場にて収録。
『Topsy Turvy』『Whatever』『万華鏡』他、THE GATEで唯一オリジナル以外の曲『Moon River』が収録されている。



2012年 THE GATE live in SHIBUYA acmusic007 ¥3,000

野瀬が人生で一番相性がいいと感じたF1というニックネームのすこぶる反応の良いニューヨーク・スタインウェイ・コンサートグランドピアノで演奏。
THE GATEのライブ盤で一番人気のアルバム。
『6.5』『Topsy Turvy』『Kuba』『Awamori Dance』などオリジナル全10曲収録。



2010年 THE GATE live in New York acmusic004 ¥2,500

野瀬栄進ソロピアノ/コンサート2ステージ目に武石聡がパーカッションでゲスト参加。使用するピアノが2千万円を超えるベヒシュタインの素晴らしいピアノだったので記録として音を録ってみた。今までトリオで演奏していた野瀬の曲が、この二人のユニットで演奏することで扉が開き、より自由な音楽になっていった。
このライブがTHE GATEの始まり。
『Feeling of Gospel』『恐竜が怒る時』『THE GATE』などオリジナル全6曲収録。

